

静岡県バドミントン協会 令和3年度 新役員のご紹介

今年度より新たに静岡県バドミントン協会の役員としてご尽力いただけることになった皆様を紹介させていただきます。

吉原 隆：教職員連盟を代表して、本県バドミントン競技の普及・発展に尽力できるよう精一杯頑張らせていただきます。教職員もコロナ禍の中で、様々な制約を受けながらも幼児・児童・生徒のために、ストレスが溜まる教育活動を展開しています。早く制約から解放され、教職員大会を開催して笑顔あふれるリフレッシュの機会となることを心待ちにしつつ、本県のバドミントン活動が更なる飛躍を遂げるよう協会の活動に携わってまいります。よろしくお願いいたします。

山岸 宏充：このたび、監事に就任させていただくこととなりました。大変重要な役職に、身の引き締まる思いです。役割としては、協会の会計予算や報告に関わる監査業務となりますが、近年コンプライアンス意識が高まる中、監査業務の重要性が増しているものと思います。

微力ではありますが、公正かつ適正な会計監査に努めてまいりますので、皆様よろしくお願いいたします。

中村 富美子：バドミントン歴は40年。毎年教職員全国大会の入賞を目指して練習しています。

岩藤 博子：過去にジュニアバドミントンの指導や市バドミントン教室の指導をしていました。今は富士宮障害者バドミントン教室で障害のある方たちのお手伝いをしています。趣味はフットサル、ランニング、体を動かすことが大好きです。協会の役員を承けさせていただきましたが、慣れないことで御迷惑をおかけすると思います。自分なりにお役に立てればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

望月 信也：現在 静岡市バドミントン夜間教室で水曜日と木曜日に指導しております。現在、静岡市では1～3部クラスまでしか大会が無い為、数多くの方が試合に出る事は無い状態です。

県登録すれば4～5部クラスの試合に出られるような仕組みが作れたら良いと思っています。

杉本 治代：代表 住吉さんのスクールで事務局をやらせて頂いております。私自身はバドミントン経験者ではありませんが、娘が2人が住吉さんのもとの全小・全中・インターハイと出場しております。バドミントンに携わって13年になります。よろしくお願いいたします。

吉田 将紀：コロナウイルスの影響で多くの活動が十分に行えていない中ではありますが、ウイルスに負わずに様々なことに挑戦していきたいと思っています。高体連だけでなく、静岡県のバドミントンの普及・発展のために頑張っていきたいです。よろしくお願いいたします。

市野瀬 博志：静岡県のバドミントンの強化と普及に務めていきます。宜しくお願いします。

稲森 修子：羽ばたきのコーチをしています、よろしくお願いいたします

伊藤 俊一：静岡県のバドミントンのレベルアップと普及に少しでも力になればと思います

實石 紀満子：ジュニアバドミントン教室「羽ねっこ」を担当しております。近年、スポーツとしてバドミントンに取り組む児童が増えているという実感があります。教室では、スタッフと協力して、安全に心がけながら充実した練習を心がけています。

大竹 達朗：私がバドミントンを始めたのは、吉原工業高校に入学したときでした。杉山理事長のことは、当時の沼津学園高校時代から存じ上げております。当時は、貴重なご意見、アドバイスをいただいたことも覚えています。今では、私のバドミントン歴も25年といったところです。双子の娘が小学生時代には、富士中央バドミントンクラブに所属していたのでジュニアの育成、指導の経験はあります。今現在は、いろいろな方々のご縁があり、羽ねっこのスタッフとして活動させていただいています。

杉 ゆき江：4年前の静岡市で開催された全日本レディース大会の運営で、静岡県の皆様のご協力をいただき、大変ありがたく感じておりました。また、2年連続で日中友好事業に関わらせていただき大変良い経験となりました。恩返しのつもりで、大会運営のお手伝い、羽ばたきの指導のお手伝いをさせていただきました。恩を返すつもりが、自分にとってためになることの方が多く、皆様から得ることの方が多いです。感謝しております。(敬称略順不同)

第68回東海高等学校総合体育大会 バドミントン競技

令和3年6月19日(土)・20日(日)

第3位 星陵高等学校



静岡県バドミントン協会事務局

〒421-0113 静岡市駿河区下川原 6-13-10

鈴木 利幸

TEL 090-3957-0971

E-mail shizuokakenbadkyokai@yahoo.co.jp

静岡県バドミントン協会広報委員会

〒416-0909 静岡県富士市松岡 1515-12

長島 稔

TEL&FAX0545-61-2226

E-mail kouhounagasima@gmail.com

バドミントン しずおか

第63号

発行 令和3年8月15日 発行所 静岡県バドミントン協会 編集者・印刷 広報委員会

第69回静岡県高等学校総合体育大会バドミントン競技

学校対抗 令和3年5月22日(土)・23日(日) 沼津市民体育館・富士見高校

個人戦 令和3年5月29日(土)・30日(日) 磐田市総合体育館

男子学校対抗

優勝 星陵高校

準優勝 加藤学園高校

3位 富士見高校

女子学校対抗

優勝 星陵高校

準優勝 常葉大菊川高校

3位 伊東高校



男子優勝 星陵高校



女子優勝 星陵高校



男子シングルス優勝



男子ダブルス優勝



女子シングルス優勝



女子ダブルス優勝

【男子団体】

星陵高校バドミントン部部長の佐野覚斗です。

まず初めに、今大会を開催するにあたってご尽力いただいた多くの関係者の方々に感謝申し上げます。コロナ禍の中大会が開催され、日頃の練習の成果を発揮できたことに大きな喜びを感じています。

今回の団体戦では、応援等大きな声は出せず、拍手だけの応援となってしまいました。しかし何より試合をすることができ嬉しい気持ちでいっぱいです。

団体戦では、団体メンバーだけが主役になるのではなく、メンバーの入ることができなかった仲間たち全員が主役となり優勝することができました。誰1人として欠けてはいけない存在です。

チームの中では、思うようにいかないことも多く、チームメイトとたくさん話し合い、本気でぶつかることもあったからこそこの結果だと思います。

これから、インターハイがありとても厳しい戦いになりますが、全員で力を合わせて頑張っていきたいと思います。静岡県の代表チームとしてふさわしい戦いができるように全力を尽くします。

最後に私たちを支えてくださる方々にしっかりと感謝の気持ちを持ってこれから日々精進していきたいと思っています。

【女子団体戦】

星陵高校女子バドミントン部の内田真緒です。

今回のインターハイ県予選学校対抗の部において全国への権利を掴み取ることができました。コロナウイルスによる危険な状態が続く大会直前には静岡県の警戒レベルが引き上げられ感染すれば予選への出場権すらなくなってしまうという状況の中で、大会開催に向け徹底した感染対策に努め私たちが安全な状態で堂々と戦える舞台を整えて下さった先生方、関係者のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

2年ぶりのインターハイという最高の舞台を目指すためのこの試合を通して、一緒に戦える仲間がいることは素晴らしいことであり、試合は本当に特別なものだと改めて感じる事ができました。最高の舞台で戦い大きなものを得ることができるよう、気を抜かず感染予防などに努め行動していきます。試合を見ることはできなくても自分たちを信じずっと応援してくれる両親や先輩方、支えて下さる方の為にも、さらにチームの仲間と練習に取り組む中で絆を深めていき「星陵」として全国の舞台で結果を残せるように一球一球に思いを乗せて精一杯戦いたいと思います。